

【研修名タイトル】

『発達障害児者の支援に関する標準的な研修プログラム』によるオンライン研修

【概要】

この度、厚生労働科学研究の辻井班（研修）の取り組みとして、福祉、教育、医療などを包括した、わが国の標準的な研修プログラムを実際に取り組み、その成果やプログラム内容について検討し、開発を進めております。次年度以降、全国の発達障害者支援センターや教育センターの研修担当職員が講師を務めることを中心に考え、担当職員が各地で研修が可能になるための取り組みを行います。

今回、12-1月に発達障害者支援センター・教育センター等の職員を対象とした、オンライン形式での研修プログラムを開催します。本研修は標準的な研修プログラム開発も兼ねて実施されるものですので、研修の事前事後に実施する研修アンケートにもご協力いただける方を対象としておりますこと、ご了承ください。研修を修了した方に、受講修了証や研修実施のための研修スライドとテキストをお渡しし、次年度以降、各地域のセンターで受講者のみなさまが職員研修に取り組んでいただくことを想定しております。

現状、自治体ごとで研修内容が異なり、テーマで単発であったり、障害の定義的なもので終わっていたり、実際のアセスメントから支援までの流れを研修することが標準的な研修内容が示されていなかったこと、福祉、医療、教育で一貫した研修プログラムがないことを受け、今回開発することになりました。今回のプログラムは最初のプラットフォームですので、今後、さまざまな実践や研究の進歩の中で、定期的に改訂されていくものと考えられます。

【日時】本研修は2日間のプログラムとなります。

<第1回>2020年10月17日(土)9:00~17:00、10月18日(日)9:00~17:00

<第2回>2020年10月31日(土)9:00~17:00、11月1日(日)9:00~17:00

※第1・2回は専門家対象のプログラム検討会として実施、終了しました。

<第3回>2020年12月19日(土)~20日(日)[金沢]各日9:00~17:00

※申込〆切12月5日(土)

<第4回>2021年1月9日(土)~10日[弘前]各日9:00~17:00

※申込〆切12月19日(土)年末年始を挟むため3週間前〆切

<第5回>2021年1月23日(土)~24日[長崎]各日9:00~17:00

※申込〆切1月9日(土)

<第6回>2021年1月30日(土)~31日(日)[鳥取]各日9:00~17:00

※申込〆切1月16日(土)

(※研修当日は、若干、時間延長等が生じる可能性があります)

【主催】

令和2年度 厚生労働科学研究（障害者政策総合研究事業）『国立機関・専門家の連携と 地域研修の実態調査による発達障害児者支援の効果的な研修の開発』 研究班

【研究班の構成】

<責任者・主任>

中京大学・現代社会学部・教授 辻井 正次

<研修担当者・分担（五十音順）>

鳥取大学・医学系研究科臨床心理学講座・教授 井上 雅彦

長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科・教授 岩永 竜一郎

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・精神保健研究所・知的・発達障害 研究部・部長
岡田 俊

帝京大学文学部心理学科・教授 黒田 美保

国立特別支援教育総合研究所・発達障害教育推進センター・上席総括研究員 笹森洋樹

宮城県子ども総合センター附属診療所・非常勤医師／浜松医科大学光先端医学教育研究センター・生体
機能イメージング研究室・訪問共同研究員 鈴木 勝昭

愛知東邦大学・人間健康学部・准教授 高柳 伸哉

国立障害者リハビリテーションセンター病院長／発達障害情報・支援センター長 西牧 謙吾

名古屋学芸大学・ヒューマンケア学部・講師 浜田 恵

独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園・事業企画局 研究部・部長 日詰 正文

弘前大学・医学研究科附属 子どものこころの発達研究センター・特任助教 三上 珠希

中京大学・心理学部・教授 明翫 光宜

金沢大学・人間社会研究域学校教育系・准教授 吉村 優子

【対象】

全国の発達障害者支援センター・教育センター等の職員で研修担当者が対象となります。

【定員】

各回 50 名 参加費は無料。事前事後の研修アンケートにご協力いただける方。

【申し込み先】

・「お名前」「ご所属」「メールアドレス」を明記の上、下記アドレスへメールでお申し込みください。

※ご記入されたメールアドレス宛に研修会リンクをお送りしますので、誤字等にお気をつけください。

申し込み先：hattatu-isc@rehab.go.jp

なお、お申し込みにあたって2日間の参加が困難である場合、所属機関の同じ職員の方が2名交代で参加される形での受付も検討しております。定員を考慮した上での判断になりますが、ぜひご相談ください。

【方法】

オンライン研修で実施するので、自宅等から受講できます。

研修に参加するためには、インターネット回線とパソコン・タブレット等の情報端末が必要です。

ご記入いただいたメールアドレスに、研修1週間前を目安に本研修会へのリンクをお送りします。

本研修会は Web 会議ソフト Zoom を使用して配信します。未インストールの方は、本研修会へのリンクを視聴する情報端末でクリックしますと、インストールの案内が表示されます。

【プログラム内容】

1 日目 9:00～17:00 (若干、延長の可能性あり)

・9時～12時： 1) アセスメント 約2時間30分、2) 適応行動 約30分

・13時～17時： 4) 本人支援① 約4時間(幼児期)

2 日目 9:00～17:00 (若干、延長の可能性あり)

・9時～12時30分： 3) 家族支援 約50分、4) 本人支援② 約2時間30分(児童期)

・13時30分～17時： 4) 本人支援③ 約2時間(青年期・成人期)、5) 支援の実践(PDCA) 約1時間

【研修内容・資料担当者一覧】

※研修当日は、資料担当者と異なる講師が発表を務める場合がございます。

1) 発達障害の各種アセスメント・ツール

- ・発達障害を客観的なツールから理解する 辻井 正次
- ・客観的ツールでの理解と医学的診断 岡田 俊
- ・知能検査、発達検査 明翫 光直
- ・ASD 特性の検査 浜田 恵
- ・ADHD 特性の検査 高柳 伸哉
- ・LD 特性の検査 吉村 優子
- ・DCD 特性の検査 岩永 竜一郎
- ・感覚特性の検査 岩永 竜一郎
- ・就学時健診 三上 珠希
- ・二次障害、問題行動 井上 雅彦
- ・個別の支援計画の作成 井上 雅彦

2) 適応行動

- ・適応行動の解説、Vineland-II など 黒田 美保
- ・TASP(保育・指導要録のための発達評価シート) 高柳 伸哉

3) 家族支援(きょうだい支援)

- ・家族支援の重要性、ペアレント・プログラム 高柳 伸哉
- ・ペアレント・トレーニング、ペアレント・メンターなど 井上 雅彦

4) 本人支援

①幼児期：

- ・適応行動（身辺自立など） 三上 珠希（森 裕幸）
- ・言語 吉村 優子
- ・運動・感覚 岩永 竜一郎（鴨下賢一、池田千紗）
- ・社会性 黒田 美保、浜田 恵

②児童期：

- ・適応行動（情緒） 明翫 光宜
- ・学習 笹森 洋樹
- ・運動 岩永 竜一郎
- ・社会性 黒田 美保、浜田 恵

③青年期：

- ・適応支援 鈴木 勝昭
- ・自己理解 岡田 俊
- ・社会性 辻井 正次

④成人期：

- ・適応支援 日詰 正文・辻井 正次

5) PDCA サイクルによる支援の向上

- ・特別支援教育における研修 笹森 洋樹
- ・医療や福祉等における研修 西牧 謙吾
- ・実践を科学的に検証可能なものにしていくための研修のあり方 辻井 正次